

## 単元名 二度の世界大戦と日本

配当時間 17時間

- 単元の目標 (1) 近代（後半）までの日本の大きな流れについて、世界の歴史を背景に、時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 近代（後半）での日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 近代（後半）の日本に関わる諸事情について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

## 標準的な展開例

12220101\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 記録写真から、大正時代の様子を読み取ったり、第一次世界大戦の国際関係を大観したりして、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 記録写真を見て、時代の移り変わりについて、気付いたことを発表し合う。</li> </ul> <p>★「近代（後半）」とはどのような時代なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図や年表から、第一次世界大戦の国際関係や近代（後半）の日本の動きを大観する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨーロッパを中心に、世界中の国が第一次世界大戦に関わっていることが分かる。また、日本は1914年に参戦し、中華民国やドイツ領南洋諸島の方に進出している。</li> </ul> </li> <li>○ 単元の学習問題をつかむ。</li> <li>● 「近代（後半）」の日本には、どのような特色があるのだろう。</li> <li>○ ヨーロッパでの強国同士の対立についての概略を知り、学習計画を立てる。</li> </ul> <p>2 第一次世界大戦について調べる。</p> <p>★ 第一次世界大戦とは、どのような戦いだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一次世界大戦の原因や特徴について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三国協商                      ・ 三国同盟</li> <li>・ サラエボ事件              ・ 連合国</li> <li>・ 同盟国                      ・ 総力戦</li> </ul> </li> <li>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</li> <li>■ 第一次世界大戦前後の国際情勢に対して日本はどのように動いたのだろう。</li> <li>○ ロシア革命について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レーニン                      ・ 社会主義国家</li> <li>・ ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）</li> </ul> </li> </ul> <p>3 日本の参戦と大戦景気について調べる。</p> <p>★ 第一次世界大戦への参戦は、日本にどのような影響をあたえたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の参戦と二十一か条の要求について調べる。</li> <li>○ 日本経済の変化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大戦景気                      ・ 財閥</li> </ul> </li> <li>○ シベリア出兵と米騒動について調べる。</li> <li>○ 第一次世界大戦の日本への影響を、対外関係、国内情勢に分けて説明する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対外関係では、ドイツが支配していた中国の青島を含む山東半島や太平洋の南洋諸島を占領した。</li> </ul> </li> </ul> <p>4 世界大戦後の世界とアジアの民族運動について調べる。</p> <p>★ 第一次世界大戦は、その後の世界にどのような影響をあたえたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一次世界大戦の終結とベルサイユ条約の締結について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベルサイユ条約              ・ 国際連盟</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教P. 220～P. 223</li> <li>・ 教P. 220～P. 221の資料を用い、1930年代半ばから1940年代の半ばの時代の移り変わりを読み取らせる。</li> <li>・ 教P. 222～P. 223の資料を用いる。年表では、日本の動きを時系列で捉えさせる。</li> <li>【評】近代（後半）の日本と世界について、これまでの時代との違いなどを調べたり、考えたりする活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 単元を通して、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代との違いを考えるようにさせる。</li> <li>・ 第一次世界大戦以降も、様々な戦争や対立が繰り返されていく現実を理解させる。そして本単元では、その原因や過程を探っていくようにさせる。</li> <li>・ 教P. 224～P. 225</li> <li>・ 第一次世界大戦が起きた背景とその展開に着目して追究させる。（推移）</li> <li>・ 教P. 224の年表を用い、第一次世界大戦前後の世界の動きを捉えさせる。また、教P. 225の資料を用い、総力戦になった理由を考えさせる。</li> <li>・ 日本が連合国側について参戦したことを押さえる。</li> <li>・ 日本はシベリア出兵をするなど、ロシア革命に関わったことを押さえる。</li> <li>・ 教P. 226～P. 227</li> <li>・ 諸外国との関係や日本の経済への影響に着目して追究させる。（つながり）</li> <li>・ 日英同盟を理由に連合国側で参戦したことや中国に対して強硬な姿勢をとったことを押さえる。</li> <li>・ 教P. 226の資料を用い、日本が権益を広げた流れや日本の動きが及ぼした影響をつかませる。</li> <li>・ 第一次世界大戦が行われていた海外情勢を踏まえ、日本の経済に与えた影響を考えさせたり、捉えさせたりする。</li> <li>・ 教P. 227の資料を用い、米騒動が起こった原因を考えさせる。</li> <li>・ 米騒動の後、日本で初めての本格的な政党内閣が成立したことを捉えさせる。</li> <li>【評】第一次世界大戦の日本への影響について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 教P. 228～P. 229</li> <li>・ 国際連盟やアジアの民族運動が世界に与えた影響に着目して追究させる。（つながり）</li> <li>・ 教P. 228の資料と本文を用い、ベルサイユ条約の内容を捉えさせ、第一次世界大戦前と比</li> </ul>

- アジアの民族運動について調べる。
  - ・民族自決                      ・ガンディー
  - ・三・一独立運動            ・五・四運動
- 軍縮に向かう動きについて調べる。
  - ・ワシントン会議
- 第一次世界大戦後、世界はどのように変化したかについて話し合う。
  - ・第一次世界大戦後、国際連盟の設立やワシントン会議など、国際平和や軍縮の努力が行われるなどの変化が生まれた。
- 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 5 大正デモクラシーについて調べる。
  - ★なぜ大正時代に民主主義を求める動きが広がっていったのだろう。
  - 護憲運動と政党内閣について調べる。
    - ・護憲運動                      ・民本主義
    - ・政党内閣
  - 普通選挙の実現や有権者数の移り変わりについて調べたり、まとめたりする。
    - ・ワイマール憲法            ・普通選挙法
    - ・大正デモクラシー
  - 国際協調と軍備縮小について調べる。
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
  - 第一次世界大戦によって日本の社会はどのように変化したのだろう。
- 6 社会運動の広がりについて調べる。
  - ★社会運動を広めていった当時の人々は、どのような背景で何を実現しようとしたのだろう。
  - 労働者や農民による社会運動について調べる。
    - ・新婦人協会                  ・全国水平社
  - 社会運動への政府の対応について調べる。
  - それぞれの社会運動が目指したことを調べたり、まとめたりする。
    - ・労働争議や小作争議は、貧しさの改善や社会主義を目指した。
- 7 都市の進展と大衆文化について調べる。
  - 大正時代に交通の発達でくらしが変化した様子について資料を見て、気付いたことを発表し合う。
  - ★私たちの生活にもつながる大正時代の文化には、どのような特色があるのだろう。
  - 都市の生活について調べる。
  - 文化の大衆化について調べる。
  - 大正時代の人々の生活や文化がどのように変化したか、理由も合わせて説明する。
    - ・都市では大戦景気による経済発展を背景に、生活様式の洋風化が進んだ。また、資本主義の発達に伴い、メディアの普及や教育の充実なども進み、文化の大衆化が進んだ。
  - 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
  - 8 世界恐慌と各国の対応について調べる。
    - ★世界恐慌は、欧米諸国にどのような影響をあたえたのだろう。
    - 世界恐慌の影響について調べる。
    - 資源や植民地を持てる国と、持たざる国の影響の受け方の違いについて、原因と結果を明らかにして捉える。
      - ・ヒトラー（ドイツ）      ・ムッソリーニ（イタリア）
      - ・ファシズム                  ・ニューディール政策
      - ・ブロック経済政策
    - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
    - なぜ日本は長い戦争の時代をむかえることになるのだろう

- べて、世界情勢がどのように変化したを考えさせる。
- ・教P. 229の資料を用い、独立運動が盛んになっていった様子を捉えさせる。
- ・ワシントン会議以降の軍縮の動きが、世界や日本に与えた影響を理解させる。
- 【評】民族運動や平和への動きなどを第一次世界大戦と関連付けて考えたり、表現したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 230～P. 231
- ・本格的な政党政治や普通選挙の実現までの過程に着目して追究させる。（推移）
- ・護憲運動を起こした人々の政治批判の内容、二人の学者の政治思想などの読み取りを通して、政党内閣が必要とされた目的をつかませる。
- ・教P. 231の資料を用いて、欧米のデモクラシーの風潮を背景に普通選挙が実現したことに気付かせる。
- ・大正デモクラシーが国内で広がる中、対外的には国際協調が重視されたことを押さえる。
- ・教P. 232～P. 233
- ・様々な社会運動が果たした役割に着目して追究させる。（つながり）
- ・教P. 232の資料を用い、小作争議と労働争議の増加について調べさせる。
- ・治安維持法と普通選挙法が同時に成立したことについて、民衆を支配する上での当時の思考を考えさせる。
- 【評】社会情勢の変化により、様々な社会運動が広がりをみせたことについて調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・教P. 234～P. 237
- ・教P. 234～P. 235の資料を用い、郊外電車が発達したことや沿線に様々な施設が建設されたことに気付かせる。
- ・都市化の進展と大衆文化の内容に着目して追究させる。（比較）
- ・都市と農村の格差が広がったことについて触れる。
- ・教P. 236の資料を用い、資本主義の発達、メディアの普及、教育の充実により、文化が大衆へと広がっていったことを捉えさせる。
- 【評】大正時代の文化の特色について考えたり変化した理由を説明したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 238～P. 239
- ・資源や植民地を持てる国（アメリカ、イギリス、フランス）と持たざる国（ドイツ、イタリア）との違いに着目して追究させる。（比較）
- ・教P. 238の資料を用い、アメリカの社会情勢の変化に気付かせる。また、年表から世界恐慌前後の世界の動きを捉えさせる。
- ・ソ連は世界恐慌の影響を受けなかったことを押さえる。
- ・教P. 239の資料を用い、資源や植民地を持てる国は自助努力をした一方、持たざる国は対抗勢力への批判や軍備拡張によって解決しようとしたことを理解させる。
- ・第一次世界大戦後の国際協調の流れが止まり

う。

- 9 日本の恐慌と東アジア情勢について調べる。  
★世界恐慌は日本にどのような影響をあたえたのだろう。
- 日本の世界恐慌について調べたり、欧米諸国との共通点や相違点を考えたりする。
  - 昭和初期の日本と中国の関係について調べる。
    - ・?介石
    - ・山東出兵
  - 国内政治の対立について調べる。
- 10 日本の進路を変えた満州事変について調べる。  
★なぜ満州への侵略が行われ、その後の日本の政治はどのように変わっていったのだろう。
- 満州事変について調べる。
    - ・関東軍
    - ・南満州鉄道の線路の爆破
  - 満州国の建国と日本の国際的孤立について調べる。
    - ・国際連盟脱退
    - ・海軍の軍縮条約廃棄
  - 軍部の台頭について調べる。
    - ・五・一五事件
    - ・二・二六事件
  - 満州事変をきっかけに、国際関係と国内政治がどのように変化したかをまとめたり、説明したりする。
    - ・国際関係は、国際連盟中心の協調外交から、国際連盟を脱退し国際的に孤立する方向へと変化した。
    - ・国内政治は政党政治、軍縮路線から、軍部の発言力が強まり、軍拡路線へと進路を変えた。
- 11 日中全面戦争と戦時体制について調べる。  
★なぜ日本と中国の軍事的衝突は長期化したのだろう。
- 中国との全面戦争について調べる。
    - ・毛沢東
    - ・盧溝橋事件
    - ・南京事件
  - 日中戦争による影響を、国内と国外に分けて調べたり、まとめたりする。
    - ・国内では、思想、生活、政治結社、教育などあらゆる面で軍国主義の戦時体制が推進された。
    - ・国外では、皇民化政策が推進された。
  - 学習を振り返り、小単元のまとめをする。
- 12 第二次世界大戦の始まりについて調べる。  
★第二次世界大戦は、どのようにして起こり、どのように展開したのだろう。
- 第二次世界大戦の始まりと経過について調べる。
  - ドイツの占領政策について調べる。
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
  - 第二次世界大戦が世界にもたらしたものは何だろう。
  - 枢軸国と連合国について調べる。
- 13 アジア・太平洋での戦争について調べる。  
★日本は、なぜアメリカやイギリスとの戦争を始めたのだろう。
- 日本の南進について調べる。
    - ・日ソ中立条約
  - 日米交渉の経緯について調べる。
  - 日本が、アメリカやイギリスとの戦争を始めた理由を調べたり、まとめたりする。
    - ・東南アジアに進出した日本の動きに対して、アメリカやイギリスなどが石油の対日輸出禁止などの経済封鎖を行ったため、日本は経済的に孤立し、立ち行かなくなっ

日本にも影響が及んでくることを補足する。

- ・教P. 222の年表を用い、世界恐慌後、長い戦争の時代を迎えることを捉えさせる。
- ・教P. 240～P. 241
- ・欧米諸国でも起こったことを参考に、日本の都市や農村で起こったことに着目して追究させる。（比較）
- ・都市の失業者が急増したり、社会主義革命を目指す運動が激しくなったりするなど、欧米諸国と同様に日本にも世界恐慌の影響が及んだことを捉えさせる。
- ・日本は中国にもつ權益の維持と拡大を狙って強硬な姿勢をとったことを理解させる。
- ・協調外交が軍部や国粋主義者らの反発を招き中国に対して強硬姿勢をとっていた国内の軍部の台頭が満州事変につながることを押さえる。
- ・教P. 242～P. 243
- ・日本国内の社会や政治の移り変わりに着目して追究させる。（推移）
- ・国際連盟の脱退により、世界の中で日本が孤立していったことを押さえる。
- ・満州事変や五・一五事件などを通して、軍部が台頭していったことを捉えさせる。
- 【評】日本国内の社会や政治の移り変わりについてまとめたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 244～P. 245
- ・日本軍、中国の国民政府や民衆、他国（アメリカ・イギリス）の動きに着目して追究させる。（推移）
- ・抗日民族統一戦線の成立、重慶爆撃、アメリカやイギリスの援助などの読み取りを通して日本軍、中国の国民政府や民衆、他国の動きの移り変わりをつかませる。
- ・教P. 245の資料を用い、軍国主義の戦時体制が推進されたことを捉えさせる。
- 【評】日中戦争による影響を、国内と国外に分けて調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・教P. 246～P. 247
- ・ドイツの動きと、イギリスやフランスの対応に着目して追究させる。（推移）
- ・教P. 246の資料を用い、開戦前後の動きを捉えたり、ドイツとイタリアの占領地の移り変わりを理解したりさせる。
- ・教P. 247の本文や資料を用い、ドイツの占領政策がユダヤ人をはじめとするヨーロッパの人々にとって過酷なものであったことを読み取らせ、そこに日本人も関わっていたことをつかませる。
- ・枢軸国と連合国についてまとめ、各陣営の特徴を理解させる。
- ・教P. 248～P. 249
- ・日本政府の交渉と日本軍の侵攻に着目して追究させる。（推移）
- ・教P. 248の資料を用い、太平洋開戦までの動きを捉えさせる。また、日本は日中戦争の行き詰まりを打破するために、東南アジアに軍を進めたことを理解させる。
- ・日本の動きに対して、アメリカやイギリス、オランダは経済封鎖を強めたことをつかませる。
- ・開戦当初は日本が有利に戦いを進めたことを押さえる。
- 【評】太平洋戦争が起こった経緯や理由につい

- たから。
- 14 戦時下の国民の生活について調べる。
- ★戦況の悪化にともない、国民生活はどのように変わっていったのだろう。
  - 戦争が国民生活に与えた影響について調べる。
    - ・学徒出陣
    - ・勤労動員
  - 本土空襲について調べる。
    - ・空襲
    - ・学童疎開
- 沖縄での戦争について調べる。
- 15 第二次世界大戦の終結について調べる。
- ★どのようにして、第二次世界大戦は終結したのだろう。
  - イタリアとドイツの降伏について調べる。
    - ・ヤルタ会談
    - ・ポツダム宣言
  - 日本の降伏について調べる。
    - ・広島、長崎に原爆投下
    - ・ポツダム宣言の受諾、降伏
  - 第二次世界大戦が人類に及ぼした惨禍をあげ、同じ過ちを防ぐためにはどのようなことが大切か話し合う。
    - ・世界の国々が、平和のために協力し合うことが大切である。
    - ・国民一人一人が、第二次世界大戦の被害を忘れず、平和を守るための意識をもち続けることが大切である。
  - 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 16 戦時体制の言論統制とその影響について調べる。
- ★戦時体制の言論統制とその影響を考えよう。
  - 戦況が、国民にどのように報道されたのかを調べる。
- 戦時体制の基で、言論や出版がどのような影響を受けたのかを調べる。
- 言論統制の影響について、自分の意見をまとめたり、意見交換をしたりする。
  - ・言論統制により、当時の人々の多くは戦争が正しいことだと信じていた。同じ過ちを二度と繰り返さないためにも、言論や報道の自由はとても大切である。
- 17 学習を振り返り、単元の学習のまとめをする。
- ★単元の学習問題について、自分の考えをまとめよう。
  - 学習してきたことを年表や地図にまとめる。
- 「戦争」に着目して、近代（後半）の特色をまとめる。
- 単元の学習問題について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする。
  - ・近代（前半）とは違い、欧米諸国と対等に協調したり対立するようになったりしている。アジア諸国に対しては、近代（前半）で欧米が行ってきたような態度や行動を日本がとるようになっていく。
- 戦後の写真を見て、気付いたことを話し合い、次の単元の見通しをもつ。

て調べたり、まとめたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・教P. 250～P. 251
- ・ものの不足と兵力・労働力不足に着目して追究させる。（つながり）
- ・教P. 250の資料を用い、戦争が子どもの生活に与えた影響を捉えさせる。
- ・サイパンが陥落したことにより、本土への空襲が始まったことを押さえる。
- ・身近な地域で起こった空襲（戦争被害）について、範囲や人的物的被害をまとめておき、生徒たちに提示することで戦争を身近に感じさせられるよう留意する。
- ・教P. 251の資料を用い、沖縄戦の様子をつかませる。
- ・政府が国民に「本土決戦」の決意を呼びかけ戦争を続けたことを押さえる。
- ・教P. 252～P. 253
- ・イタリア、ドイツ、日本の降伏の経緯に着目して追究させる。（推移）
- ・教P. 252～P. 253の資料を用い、枢軸国側が追い詰められていく過程をつかませる。
- ・連合国、枢軸国双方の思惑を対比させることで、戦争が継続した原因をつかませる。

【評】戦争という過ちを二度と起こさないためにどのようなことが大切かを話し合ったり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・教P. 254～P. 255
- ・教P. 254の資料1と資料3を比較し、資料1が戦果についてばかり強調し、損害が過少に記述されていることをつかませる。また、資料2を用い、当時の報道が大本営によって操作されていることに気付かせる。
- ・教P. 255の資料4を用い、統制された言論が具体的にどのように影響を与えたのかを考えさせる。
- ・言論統制により、どのような影響があったのかを踏まえ、今後の社会がどのようなようになっていくべきかを考えさせられるようにする。
- 【評】言論統制の影響について考えたり、表現したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 258～P. 259
- ・教P. 258の年表と地図に学習したことをまとめ、近代（後半）の大まかな流れを振り返らせる。年表では、朝鮮、中国や日本、欧米諸国の動きを時系列で捉えさせる。
- ・戦争の影響を様々な立場から捉えられるように、政府、軍部、兵士、国民などの視点を与える。
- ・これまでの時代との違いを踏まえ、近代（後半）の特色を大まかに表現させる。
- 【評】これまでの学習を踏まえ、近代（後半）の特色について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・教P. 260～261の資料を用い、現代の学習に関心をもたせる。

【 備 考 】